

人事院のすゝめ

令和三年度 採用者



人材局企画課



海外旅行、将棋、水泳等



〔併願先〕



国公立大学



法律系

国家総合職（他府省）

民間企業（損害保険業界）など

どんな学生生活を送っていましたか？

学生時代は、学生自治団体や法律系のサークル活動に力を入れていました。学生自治団体では、数百人規模の学生が集まる会議（コロナ前の話です。）の運営や業務計画へのPDCAサイクルの導入などをしました。法律系サークルでは、コロナの関係でオンライン会議システムを活用しながら、模擬裁判の判決文作成などを担当しました。

人事院を知ったきっかけは？

最初に人事院を知ったきっかけは、人事院勧告でした。幼いころ、国家公務員だった父に「父さんのお給料は誰が決めているの」と尋ねたときに人事院が給与に関する勧告を出しているということを知りました。なぜ民間企業と異なり人事院勧告という制度があるのか気になり調べる過程で、人事院について知るようになりました。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

面接でお会いした職員の方々と言葉を交わす中で、最初はすごく緊張していましたが、徐々に、もっと話したい、一緒に働きたいという想いの方が強くなって来ました。そのときに、ここをこれから何十年と働く職場として選んで間違いないと自然に感じられたことが最終的な決め手でした。

人事院を志望した理由は？

現代の民主主義国家としての我が国の基盤を担当する人事院のミッションに、共感できたからです。また、就職活動を進める中で、国家公務員を志望する大学同期や合同説明会等でお会いした国家公務員の方々が安んじて国民のために働けるようにしたいと考えるようになりました。そこで、国家公務員を支える人事院で、一つの省庁の守備範囲にとどまらない規模で国民と国家に貢献したいと考えたからです。

官庁訪問で印象に残ったことは？

職員の方々はどなたも物腰柔らかく、しかしそれでいて、お仕事の話になると目を輝かせながら熱心にかつわかりやすく説明してくださいました。また、霞ヶ関の長時間労働問題、急速に変化する社会に対応するために公務で求められるスキルを持った人材の確保・育成、数十年先の日本の公務員制度のあり方等について職員の方々と議論させていただいた時間は、民間企業の労働行政とは全く異なる部分、公務員を相手にするがゆえの人事行政の奥深さの一端に触れることができた、とてもわくわくするものでした。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

仕事は、人生でおそらく最も多くのウエイトを占めるものでしょう。だからこそ国家公務員の「働く」を支え、彼ら彼女らを通じて、日本と日本国民を支える人事院の仕事は、皆さんが一生をかけるに値するものだと思います。熱い想いを持った皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



給与局給与第三課



漫画・小説を読むこと



〔併願先〕

国家総合職（他府省）
独立行政法人など



国公立大学



法律系

どんな学生生活を送っていましたか？

大学在学中は、法学部の勉強をしつつ、自分の好きな本を読んだり、学生団体の活動に取り組んだりして過ごしていました。国家公務員試験の勉強は大学3年になってから始めました。特に、教養科目である「数的処理」や「表の理解」がとても苦手だったので、時間をかけて重点的に取り組みました。

人事院を知ったきっかけは？

人事院を知ったきっかけは、国家公務員試験の勉強をしているときに、試験作りに関わっていると気づいたことです。その後、全省庁共通の説明会などを通して、随所随所で存在に気づきました。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

自分が働いていくことができるか、そのイメージを持ったからです。今でも不安はありますが、当時は自分が一職員として働き続けられるかを意識しました。

人事院を志望した理由は？

国家公務員は、新たな政策アイデアを生み出すことも重要な仕事だと考えています。しかし、働く環境が原因で、アイデアが出しにくいこともあると思います。国家公務員が力を発揮して働ける環境・勤務条件を作ることに関われると思い、志望しました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

官庁訪問で印象に残ったことは、業務説明が多かったことです。人事院の仕事について、様々な方から説明をしてもらい、自分から質問することも多くありました。自分について質問を受けることもありましたが、相手を知る機会でもありました。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

就職活動は、自分がどんな人間かを考える機会だとも思います。

私自身は、自分がどんな人間かを深く考えなかったことで、周りの方々に迷惑をかけました。

皆さんは本誌などさまざまなところから情報を集めていらっしゃる方だと思いますので、

ぜひ自信を持って就職活動に取り組んでください。



給与局給与第二課



将棋、リアル脱出ゲーム



国公立大学



法律系



〔併願先〕

国家総合職(他府省)

どんな学生生活を送っていましたか？

学業はほどほどに修めつつ、英語ディベートサークルでの活動に比較的多くの時間を使っていました。もっとも、特に生産的なことをせず遊んでいる時間が一番長かった気がします。3年次からは教養区分の勉強と民間就活を並行していましたが、結局公務員一本勝負になったので官庁訪問中はだいぶ不安でした。

人事院を知ったきっかけは？

公務員試験を受けた際に試験を実施している組織として初めて人事院の名前を知りました。その後、3年生の終わり頃に大学で行われた省庁合同説明会で人事院のブースに行ったのが興味を持ったきっかけでした。担当職員の方の雰囲気や、その方に聞いた職場の雰囲気が自分に合っていそうだなと感じた記憶があります。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

何を仕事としてやりたいかは当然大事ですが、数年ごとにやる仕事が変わることを考えると組織の雰囲気が自分に合っているかという点も重要になる、と官庁訪問を通じて思うようになりました。そんな中、様々な職員の方との面接を経て全員に好印象を抱いたのが人事院だったのが決め手になったと思います。

人事院を志望した理由は？

「多くの人の生活を支えたい」という漠然とした思いがあり、インフラ系の民間企業と公務員を視野に入れていました。そして、説明会で人事院について学んで、府省の中でも自分のやりたいことに近い仕事をしている印象を持ったので志望するに至りました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

オンライン面接だったので各面接の開始直前にかかってくる電話を待つ時間で精神的に疲弊したのを覚えています。ただ、人事院の面接では面接官の方々がこちらを気遣って和やかに接してくださった印象があります。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

官庁訪問は、面接を通じてあなたが自分の能力を発揮し楽しく働ける職場であるかをお互いに確かめる場であり、自然体で臨むことが最終的に良い結果に繋がると思います。その結果人事院と一緒に働けることになったら全力で歓迎します！頑張ってください！！



公平審査局調整課



旅行・ゲーム



〔併願先〕

国家総合職（他府省）

地方上級・国家一般職・衆議院事務局など



私立大学



法律系

どんな学生生活を送っていましたか？

サークルには属さず、大学の授業と飲食のアルバイトで忙しくしていました。旅行に行くことが楽しみの一つで、オーストリアへの一人旅が特に思い出深いです。また、ボランティアや大学主催のセミナーに参加したり、美術館や博物館、演劇など、興味のあるものには何でも触れてみようと思ったりと色々なところに足を運びました。

人事院を志望した理由は？

様々な省庁の職員からお話を伺ううちに、「国民のために働く職員の“働き”を支えたい」と思うようになったからです。また、国家公務員の志望者が減少傾向にあることに危機感を感じ、労働環境を整えることによって国家公務員をより魅力的な職業にし、その魅力を発信する仕事に携われたら、と考えたのも理由の一つです。

人事院を知ったきっかけは？

人事院主催の公務研究セミナーです。なんとなくの気持ちで人事院のブースに向かいましたが、お話を聞いて、人が好きな自分に向いているのでは？と思ったのがきっかけです。他省庁について人事院職員の方にお尋ねしたこともあります。非常に穏やかな方が丁寧に対応してくださったのをよく覚えています。

官庁訪問で印象に残ったことは？

人事院の魅力は？という問いに対する、人事課長の「後ろ盾がない分、信念をもって質の高い政策を追求できる」という言葉がとても印象的でした。人事課長は笑顔が柔らかく、穏やかで気さくな方なのですが、そんな印象と人事院の孤軍奮闘さが結びつかず、漫画の主人公みたいでカッコいい！と思ったのを覚えています。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

官庁訪問を進めていくうちに志望度がかなり高まっていたので、内定をいただいたときは、人事院でお世話になることを即決しました。職員の雰囲気や受験生を配慮した官庁訪問のスケジュール（面談の間隔、終了時刻等）から、人を大切にす職場風土が感じられ、また限られた時間の中でも多くの職員の方とお話しさせていただいたことに大変感激しました。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

話す内容も勿論ですが、自分らしく面接に臨むことも大切です。皆さんが官庁訪問を楽しめるくらいリラックスできるよう、院内のデスクから祈っております！



職員福祉局審査課



茶道



〔併願先〕

市役所



国公立大学



社会学系

どんな学生生活を送っていましたか？

大学時代は茶道部に所属し、週3回の稽古に欠かさず参加していたほか、定期的で開催する「茶会」という行事の運営に力を注いでいました。学業の面では、専攻の政治学に加え、言語学、教育学、ジェンダーなど様々な学問領域に挑戦し、視野を広げることを心掛けていました。

人事院を知ったきっかけは？

人事院という組織そのものについては高校の政経の授業で聞いたことがありました。具体的に興味を持ったのは、大学1年時の冬の「公務研究セミナー」で何気なく人事院の説明会に参加した時のことです。そのときに業務の説明をしていた職員が明るくユーモラスな方であったことが鮮烈な印象として残っています。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

私自身の性格を評価し、必要としてくれていることを感じられたため、この組織で働きたいという思いが強まりました。初めてもらった内定であったことも嬉しかったです。

人事院を志望した理由は？

国家公務員の規律や倫理を保ち、国民から信頼される行政を目指す業務に携わりたいと考え、人事院を志望しました。また、国家公務員の働き方改革にも関心がありました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

穏やかで親しみやすい職員が多かったのが印象的でした。人事院の採用パンフレットの表紙に「人が主役です」と書かれているとおり、「人」を大切にする組織であるということが感じられました。この印象は人事院に入ってから変わりません！

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

官庁訪問は緊張するかと思いますが、気負わずリラックスして笑顔で臨めばいい結果が待っているはずです。頑張ってください！人事院でお待ちしています！



給与局給与第一課



日記・司会



〔併願先〕

国家総合職（他府省）

地方上級・国家一般職など



国公立大学



法律系

どんな学生生活を送っていましたか？

講義を受ける他は、友達と集まったり、家でゆっくりして時間を潰していました。のんびりとした学生生活でした。また、アナウンス系のサークルに所属していたため、イベントの司会を行うこともありました。

人事院を知ったきっかけは？

大学生協のイベントで霞ヶ関に訪れる機会があり、その際の事前学習で存在を知りました。人について考えていくことで、多くの方を幸せにしていける仕事内容だということに興味をもった記憶があります。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

官庁訪問を通して人事行政に興味をもったからです。また、職員の方と自分の考え方や視の広さの差を痛感し、組織に入って実務をこなすなかで、成長できたらなと考えたからです。

人事院を志望した理由は？

大学生活でのアルバイトやサークルを通じて、自分の働きかけで誰かが幸せになれるのは嬉しいなと考えるようになり、そのためなら頑張れるなと思ったので(後記のきっかけも踏まえて)志望するようになりました。中立公正という人事院の立場を面白いと感じたからでもあります。

官庁訪問で印象に残ったことは？

職員さんに仕事上の哲学を尋ねた際、皆さんきちんと答えてくださったことです。お話を通して、知ったつもりになっていた言葉や課題にいろいろな側面があることを伝えていただき、人と真摯に向き合ってくれる組織なんだと感じました。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

官庁訪問と聞くと、超頭いい人たちの頭脳バトルが行われているように感じ、恐ろしく思う方もいると思います。実際はそんなことはありません！自身の興味のある分野についていろいろ知ることができる貴重な機会であり、とても面白いものです。

不安に思われている方も私の言葉を信じて、ぜひ積極的に行動してみてください！



企画法制課



空手古武道・合気道



[併願先]

国家総合職（他府省）

国会職員・地方上級など



私立大学



法律系

どんな学生生活を送っていましたか？

公共政策研究ゼミに所属し、多文化共生政策を研究しました。また、「副専攻」制度を活用して法学部設置科目を受講して法律を学習しました。その一方において合気道部に所属し、学生委員長として全日本大会の開催に取り組みました。アルバイトとしては、自動車保険の事故受付センターに4年間勤務していました。

人事院を知ったきっかけは？

給与勧告や採用試験に関する報道で人事院を知り「地味な役所だな」という印象を抱きました。しかし、官公庁の就業体験を通じて行政官という「働き方」に興味を抱き、3回生の秋にゼミ活動として人事院を訪問したときにお会いした職員の方が複雑な人事行政について滔滔と語る姿に憧れて「働き方」の探求を一生の仕事にしてみたいと考えました。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

他府省と比較しても自然体で官庁訪問に臨むことができたことです。もちろん他府省の職員も受験者をリラックスさせようと努めてくださっていましたが、人事院の場合には特に職員や周囲の受験者と話すテンポや雰囲気などが自然に合ったため「ここならば数十年先まで安心して頑張ることができそうだ」と感じました。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

学生時代に公務員制度に接する機会は多くないため、ご自身の興味関心を言葉にするのは難しいかもしれません。そんなときには、ぜひ説明会や官庁訪問に参加して不器用でもかまわないので思ったことを素直にお話してください。職員は親身になって相談に乗ります。

皆様とお会いできる日を楽しみにしています！！

人事院を志望した理由は？

社会情勢の変化や自然災害の増加により、行政に期待される機能は増加しています。一方において、残念ながら一部の官僚による不祥事が行政に対する国民の信頼を低下させていると言われています。また、近年は国家公務員の過酷な労働環境が問題視されています。私は、労使のどちらに偏ることなく、中立・公正な人事行政の専門機関として「行政官のあるべき姿」を追求する姿勢に共感したため人事院を志望しました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

私の勉強不足のために失礼なことをお聞きすることも多くありましたが、人事院の職員は真摯に対応してくださったため、「国家公務員は秘密主義で何をしているか分かりにくい」という固定観念をいい意味で裏切られました。



人材局試験専門官室



カフェ巡り・国内旅行



〔併願先〕

国会職員

国家専門職など



私立大学



文学系

どんな学生生活を送っていましたか？

学生生活の前半は塾講師のアルバイトをしつつ、趣味の国内旅行を楽しんでいました。特に、大学2年生の春に青春18きっぷで東北地方を一周したのがとても楽しかったです。1ヶ月ではありますが留学も経験しました。公務員試験の勉強は大学3年生の秋に始めたのですが、それ以降は勉強に集中していましたね。

人事院を知ったきっかけは？

高校生くらいの頃から存在は人事院勧告についてのニュースで知っていましたが、本当に名前しか知りませんでした。公務員を目指すにあたって、試験日程などの情報が人事院のホームページで公開されていたことで、改めて認識しました。受験先として本格的に調べるようになったのは、予備校の先生に勧めていただいたのがきっかけでした。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

他所と比較して職員の方々の雰囲気が柔らかかったのが決め手になりました。官庁訪問で多くの職員の方にお会いしましたが、全員にとっても良くしていただきました。このような人々となら、仕事が大変でもやって行けるだろうと考え、人事院に入ることを決心しました。

人事院を志望した理由は？

結局何かを成し遂げられるかどうかは人間にかかっていると考えたからです。どれだけ仕組みが良くても、それを運用する人間次第で結果が大きく変わってしまいます。大変な思いをして考えられたであろう政策がきちんと機能するよう、人材の採用や育成、サポートに携わってみたいと思いました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

官庁訪問にあたり、文学部の出身であり法律などに詳しくないことを気にしていました。それがある職員の方に話したところ、「仕事は人を知るところから始まる。自分とは異なる背景を持った人を知ろうとする時、様々な思想や文化への理解は不可欠だ。だから文学部で学んだことは公務の役に立つ。」との趣旨のお言葉をいただき、非常に感動しました。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

人事院に興味を持ってくれて嬉しいです、ありがとうございます！

試験勉強と官庁訪問対策とで大変だとは思いますが、学生生活も楽しみつつ頑張ってください！みなさんが入って来るときまでに、少しでも頼れる先輩になっていられるよう私も頑張ります。

いつかお会いできる日を楽しみにしています。



職員福祉局職員福祉課

舞台鑑賞

〔併願先〕

国家総合職（他府省）

地方上級（心理職） など

国公立大学

心理系

どんな学生生活を送っていましたか？

どちらかと言うと浅く広く、様々なコミュニティに参加し、年齢や文化的背景が異なる人との出会いを大切にしていました。「とりあえずやってみよう」精神で、留学やワークショップ運営、保育園でのアルバイト、小学校での学習支援ボランティアなど、少しでも興味をもったことに飛びつき、自分の好きなことを見つけていました。

人事院を志望した理由は？

「障害者や女性をはじめ、全ての立場の人が“助け”を求めやすい社会にすること」が就職活動の軸でした。ハラスメントや残業、障害者雇用など、制度ができることではじめて問題として認識される場合があると感じています。必要な人が声をあげられるよう、制度を整備し、定着させることが重要だと思い、人事院を志望しました。

人事院を知ったきっかけは？

大学3年生の冬に参加した、公務業務セミナーです。各府省が個別ブースで業務内容や仕事のやりがいを説明する企画で、当時、他の省庁を目当てに参加したのですが、時間が余りたまたま立ち寄ったブースが人事院でした。その時の講演者・司会者の職員さんのやりとりや雰囲気がとても素敵で、それから人事院が気になり始めました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

出会った職員の皆さんが、自身が携わった業務について誇りをもち、楽しそうにお話されていたことをよく覚えています。また特に、「創造的であることもそうだが、想像的であれ。労働者、使用者、様々な人の視点に立ち、要求を理解する。そして、現場に足を運び、人の声を聴くこと。」という言葉が印象に残っています。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

官庁訪問を通して、職場環境や人間関係等、就職後にミスマッチが起こりにくいと確信したためです。誰でも経験しうる仕事上の苦しい時に、腐らず、折れず、続けられる職場だと感じました。他府省と比べて官庁訪問でお話を伺った職員数が多く、キャリアプランについてのお話や同じ試験区分の職員の方のお話を伺うことができたのも大きな安心材料でした。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

私自身、人事院のブースにふら〜っと立ち寄ったことが、今現在のお仕事、人との出会い、全ての始まりでした。この体験記をご覧の方の中には、全く人事院を知らなかったという方もいるかと思いますが、一度、説明会等に足を運んでみると、何か大きな出会いや発見があるかもしれません。コロナ禍の就職活動では、慣れないストレスや将来への不安が多々あるかと思いますが、最後には納得のいく選択ができるよう、皆さんの就職活動を応援しています！



関東事務局第一課



野球観戦



〔併願先〕

国家一般職(他府省)
地方上級など



国公立大学



社会科学系

どんな学生生活を送っていましたか？

学部では主に政治、特に東アジアの政治について学んでいました。また大学3年次までは野球部に所属しており、週の半分ほど活動をしていました。それに加え、環境系の活動を行う団体にも所属しており、市の環境保全課でのインターンを行うなどの活動をしていました。アルバイトは派遣等が多かったです。

人事院を志望した理由は？

自分にどんなことが向いているのかを考えたときに、何か特定の分野というよりも、人を支える仕事に向いていると考えました。人事院の業務は国家公務員を支え、ひいては国民を支えることにもつながるものであり、そのような仕事をしたいという思いから人事院を志望しました。

人事院を知ったきっかけは？

一番初めに知ったきっかけは公務員試験について調べる際に人事院のホームページを見たことです。また、大学で受講していた公務員講座で人事院を受けられた先輩の話聞く機会があり、その話を聞いたことで人事院に対する興味が高まりました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

対応してくださった職員によって、全然雰囲気違ったことです。ただ、皆さんが優しく、緊張しない雰囲気を作ってくださったことは共通していました。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

実際に働かれているいろいろな職員の方とお話をしていくなかで、自分がやりたいことと一致していると実感できたからです。また雰囲気がよく、働きやすい職場であることが感じられたのも決め手となりました。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

本誌に目を通してくださりありがとうございます。試験や官庁訪問など大変なことが続くと思いますが、皆様が十二分に力を発揮できることを祈っております。頑張ってください！！



職員福祉局職員福祉課



サックス演奏、書道



〔併願先〕

特別区
地方上級
市役所



私立大学



文学系

どんな学生生活を送っていましたか？

大学 1.2.3 年と音楽系の部活で週 3 日の練習、月に 2~3 回の本番をこなしていました。また、アルバイトも塾講師とカフェの店員の 2 種類をしており、大学の有志の学生で構成される委員会にも所属していました。充実していましたが忙しかったです。幅広いコミュニティで多くの人と関わることが出来たのが、何よりも貴重な経験になりました。

人事院を知ったきっかけは？

「女性のための公務研究セミナー」に参加したことがきっかけで人事院を知りました。採用試験だけでなく、受験生への説明会も人事院が主軸になって運営していると聞き、身近な存在に感じました。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

官庁訪問で多くの職員の方との面接を通し、雰囲気やわかさ、人柄の良さに惹かれたからです。また、国民のために働く国家公務員をさらに支えるという人事院の役割に魅力を感じました。人事院の業務は非常に幅広く、多岐にわたるものでしたが、やりがいがあるのではないかと思います。

人事院を志望した理由は？

「国民の生活を支える国家公務員をさらに支える」という人事院の役割に魅力を感じたからです。学生時代に、人と関わり、人のために動くという経験が多くあったので、仕事にも活かしたら素敵だなと考えていました。このことから、どこよりも人とのつながりを大切にする人事院を志望しました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

どの職員の方も緊張する私に優しく話しかけていただいたことです。そのお陰で緊張もほぐれ、次第に自分らしさを伝えられるようになりました。また、これは余談ですが官庁訪問当日にグレーのマスクで行ってしまったことです笑

評価が下がるということは無いのですが、周りが白の不織布のマスクの中、悪目立ちしていないかヒヤヒヤしていました…

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

ここまで読んでいただきありがとうございます！先のが見えない中、自分と向き合って勉強を続けるのは本当に苦しいし、しんどいと思います。私の体験記が少しでもお役に立てば嬉しいです。
頑張る皆さんを心から応援しています。



国際課企画班



バレエ・ピアノ・映画鑑賞



〔併願先〕



国公立大学



音楽系

国家総合職・国家一般職（他府省）
民間企業

どんな学生生活を送っていましたか？

大学ではアートマネジメントと呼ばれる分野を専攻していました。音楽、美術を横断的に取り扱いながら、芸術の発表の場（展示や演奏会、ワークショップなど）を企画するというものです。実際に企画運営に参加する中で、多くの出演者の方と知り合えたのは良い思い出です。

勉強以外にも、アルバイトや趣味など充実した学生生活でした。

人事院を志望した理由は？

人事院であれば、私の目指す社会人像に近づけるのではないかなと思ったからです。行政府に省庁は数多くありますが、その中で人事院は中立・第三者機関という性質を持っています。そのため、様々な政策や社会全体を俯瞰することができるのではないかなと思いました。入ってみて実際、職場・私生活・社会全体を広く視野に入れている方が多いように思います。

人事院を知ったきっかけは？

元々、身内に公務員がいたためか、直接の関係はないものの、人事院勧告のニュースは聞いたことがありました。業務内容などは、説明会や官庁訪問で話を聞くうちに知り、関心を抱きました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

正直なところ、待機室で周りが皆優秀そうに見えたことが一番心に残っています。面接は話しやすい雰囲気でした。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

官庁訪問に伺い、職員の方々から感じたあたたかくもメリハリある雰囲気が、志望する決め手になりました。今振り返ると、自身も含め全国にいる多様な国家公務員の人事行政を扱う人事院では、その内部でも人や考え方に多様性があり、自分に合うのかなと思います。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

就職を目指すにあたり、たくさんの迷いや困難があるかもしれません。

ぜひ、自分の目指す道を考えて、あきらめずに頑張ってください！

また、動くうちに縁を感じることがあれば、その直感を信じてみてほしいと思います。

人事院でお待ちしております！



 公務員研修所教務部教務第一課

 お菓子作り

 [併願先]

東京都特別区
地方上級

 私立大学

 文学系

どんな学生生活を送っていましたか？

たくさんアルバイトをしてたくさん遊んでいました。サークル等には入っていなかったのでアルバイト先での思い出が一番多いです。大学生のうちはある程度自由に時間を使うことができたので、やりたいことを目一杯しようと思い、長期の海外旅行にも行きました。

人事院を知ったきっかけは？

人事院という単語に関して言えば、ニュース等で人事院勧告について聞いたことがあったと思います。ちゃんと知ったと言えるのは公務員試験の勉強をしている時だと思います。行政委員会や審議会について学び、人事院という組織のことを初めて意識しました。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

官庁訪問の際、やはり職員の方々の雰囲気、皆さんとても物腰柔らかで、また、とても生き生きと働いていらっしやると感じ、そこが決め手となりました。

人事院を志望した理由は？

業務説明会や座談会に参加した際、職員の方々がとても生き生きと働いていらっしやるのを見て、私もここで働きたいなと思いました。もちろん説明会等の中で聞いた職務の内容についても、とても興味深く感じたので志望しようと決めました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

面接後に職員の方が待合室に置いてあった飴を勧めてくださったり、人事課の方が緊張をほぐすような言葉をかけてくださったりしたので、とてもアットホームな雰囲気だな～というのが印象に残っています。当日はやはり緊張していたので職員の方々の雰囲気に助けられました。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

受験は合格まで、とても長い道のりだと思います。まずは自分自身を大切に、健康に気を付けて頑張してほしいと思います。人事院を志望する皆さまのことを、心から応援しています！



公務員研修所教務部総務課



野球・ドライブ



〔併願先〕

国家一般職（他府省）



国公立大学



法律系

どんな学生生活を送っていましたか？

まじめに授業に出て、無難な成績を残していました。ゼミにも所属していましたが、人事院の行っている業務に直接関わりのある内容ではありませんでした。学業以外には野球部に所属し、3年生の秋まで活動していました。公務員試験勉強中も、息抜きがてら部活の仲間とあって体を動かしたりしていました。

人事院を知ったきっかけは？

説明会を多く開催されていたことから人事院を知り、私も参加してみようと思いました。他の省庁と比べ、毎回説明していただける職員が代わったり、質問時間を長く設けていただけた点が良かったです。なお、試験に向けて勉強を始めたころは、人事院について、給与勧告と試験を主催している程度しか知識はありませんでした。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

幸いにも他の官庁でもいいお返事を頂けていましたが、最終的に人事院職員として働くことにしたのは、職員の方々の雰囲気によるところでした。面接中も雑談を交えたり、面接会場まで同行していただくときも緊張をほぐそうとしてくれたことから、人事院なら働きやすい環境で頑張れると思い、決心しました。

人事院を志望した理由は？

野球部に所属していた時、裏方としてチームを支えてきたことから、縁の下の力持ちとして働きたいと思い志望しました。実をいうと、公務員試験を受験しようと思い始めた当初は、他の省庁を志望していました。しかし、自己分析をしていくうえで、より私に合っているのは人事院ではないか、最終的に第一志望になりました。

官庁訪問で印象に残ったことは？

2つ印象に残ったことがあります。まず、面接を重ねるごとに受け答えが上手くなっていくのを実感できたことです。気のせいかもしれませんが…。そして、いくつかの省庁ではオンラインで面接が実施されたことです。今年は例外的に、このような形式で実施されましたが、タイムラグや回線不良に陥ったりすることもありました。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

受験生の方々には、様々な省庁の説明会に参加していただきたいと思っています。そうすることでパンフレットだけでは分からない、それぞれの特徴が見えてくるはずです。そのうえで、人事院を検討していただければ嬉しいです！息抜きしつつ、頑張ってください！



会計課



ソフトテニス



〔併願先〕

国家総合職

国家専門職・地方上級など



私立大学



商学系

どんな学生生活を送っていましたか？

実家暮らしだったので片道約1時間半かけて通学していました。授業は主に会計にまつわるものを学んでいました。ちなみに、ゼミには所属していませんでした。その他に、学内講座を受けながら体育会（ソフトテニス部）にも所属していたので授業等がない時間は練習に明け暮れていました。

人事院を志望した理由は？

人事院を志望した理由は2つあります。1つ目は、人事院の扱う仕事（人事院規則の策定や給与に関する業務等）に興味があったからです。2つ目は、人柄や風通しが他の省庁に比べて良いと感じたからです。実際に入庁してからは、同期だけでなく上司の方々も気軽に話しかけてくださっていると思います。

人事院を知ったきっかけは？

公務研究セミナーの第1回目が私の所属していた大学の神田キャンパスで開催されており、その時にたまたま人事院の説明を聞いたのがきっかけだったと思います。

官庁訪問で印象に残ったことは？

どちらかというと実は面接を受けている時間よりも待ち時間のほうが長かったことです。これは人によると思います。また、人によって終了時間が異なるので、段々と人が減ってくることによる不安を抱いていたのを覚えています。

内定承諾の決め手は？

お恥ずかしい話ではありますが、私は数ある公務員試験の中で最終合格をしたのがこの国家一般職試験だけでした。その中でも人事院に入庁することを選択した理由としては、志望理由と重なってしまいましたが人柄の良さが大きかったと思います。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

公務員試験は民間に比べて時間がかかりますが、しっかり対策をすれば合格・内定を獲得できると思います。私でも今こうして人事院の職員として働いているので、諦めずに勉強を続けてみてください。また、就職活動は自分の今後の人生に大きな影響を与える一つの分岐点になると思うので、是非色々な所の説明会に参加して自分に合いそうな所を見つけていただければと思います。それが人事院であれば嬉しいです。皆様と働けることを楽しみにしております！



① 会計課

② 料理・製菓

③ [併願先]
他府省

④ 私立大学

⑤ 法律系

どんな学生生活を送っていましたか？

学業よりも家族の世話やアルバイトに力を入れていて、あまりまじめな学生ではありませんでした。時間を戻せるわけではないので仕方ないことなのですが、制約がある中でも学業をもっと頑張っておけばよかったなと思います。

人事院を志望した理由は？

困っている人の助けになりたい、頑張っている人を応援したい、そういった人たちの一助になりたい。という気持ちが自分にはありました。人事院は国家公務員の人事管理を担当する機関で、自分の思いと一致していると思い受験しました。

人事院を知ったきっかけは？

中学生の時、社会科の授業で行政の役割とその組織について習った時に出てきた、人事院勧告が人事院を知ったきっかけです。

採用面接で印象に残ったことは？

対面面接の時に印象に残ったことは、省庁によって雰囲気が全く違うことです。庁舎の雰囲気も、面接の雰囲気も全く違っていたのが印象的です。

最終的に人事院を選んだ決め手は？

真摯な姿勢で自分の話を聞いてくれたことです。自分のこれまでの経歴があまり充実したものではないので、他省庁の面接では履歴書を一読されて即座に不合格と判断されていることが多いように感じました。しかし、人事院だけはしっかりと最後まで自分の話を聞いてくれたうえで、理由を尋ねてくださり、補足説明をする時間をくださいました。真摯さが決め手でした。

最後に人事院を志望する受験生にエールをお願いします！！

合格後には人事院で働くという点から考えると、面接テクニックや準備した建前で合格したとしても、本来の自分と乖離していればいるほどその後のギャップがあると思います。ですので、本音で面接を受けることをお勧めします。ご自身が大切にされている価値観と人事院の役割・業務との共通点がたくさんある人が合格するのではないかと思います。共通点をたくさん見つけて面接に臨んでください。口下手な自分でもしっかりと向き合っていました。応援しています！